心理学統計法(3550)	武野　全恵	併修科目・必修
		1年
		OT月曜2限

授業のねらい	心理学で用いられる統計手法について，その基本的な考え方や理論を学び，統計に関する基礎的な知識を習得できるよう，心理学における統計の概要を理解する
教科書・資料	テキストは使用せず，配布資料のみで授業を行う。その他に参考資料も配付する。

設題				
	レポート　1	下記の言葉をすべて用いながら、統計的仮説検定について述べよ。 「母集団」・「標本」・「帰無仮説」・「対立仮説」・「有意水準」 なお、言葉を用いる順番は特に指定しない。	下書	11月9日（月）
	（ポイント）	・上記の言葉を用いるときには、それぞれの定義 意味 についても述べること。 ・心理学の研究において、データを集めて分析する場合の基本的な流れを念頭においてレポートを作成するとよい。具体例の有無は問わない。 ・教科書の記述をただまとめただけのレポートは歓迎しない。拙くても良いので自分の言葉で記述することが求められる。 ・文献やインターネットからの 丸写しは容赦なく 不合格とする 。 どこまでが文献からの引用であるかを明らかにする。	清書	12月14日（月）
	科目終了試験	学修のポイント1 平均値 、中央値、最頻値の使い分けについて	科目終了試験12月23日（水）実施予定	
		学修のポイント2 相関関係と因果関係の違いについて		
		学修のポイント3 記述統計と推測統計について		
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	データとは　尺度水準や代表値について
2	1200字レポート 学修のポイント1「平均値，中央値，最頻値の使い分けについて」（9月28日（月）提出）
3	統計とは　記述統計と推測統計　標本や母集団について
4	1200字レポート　学修のポイント3「記述統計と推測統計について」（10月19日（月）提出）
5	統計的仮説検定とは　第I種の誤りと第II種の誤りについて
6	3200字レポート下書き 設題1「次の言葉をすべて用いながら、統計的仮説検定について述べよ。「母集団」・「標本」・「帰無仮説」・「対立仮説」・「有意水準」なお、言葉を用いる順番は特に指定しない。」（11月9日（月）提出）
7	2つの変数の関連について　相関関係について
8	1200字レポート　学修のポイント2「相関関係と因果関係の違いについて」（11月16日（月）提出）
9	実験デザインとは　実験参加者間計画と実験参加者内計画について
10	3200字レポート清書 設題1「次の言葉をすべて用いながら、統計的仮説検定について述べよ。「母集団」・「標本」・「帰無仮説」・「対立仮説」・「有意水準」なお、言葉を用いる順番は特に指定しない。」（12月14日（月）提出）
11	2つの平均を比較する　t 検定について
12	3つ以上の平均を比較する　1要因分散分析について
13	3つ以上の平均を比較する　2要因分散分析について
14	授業まとめ・科目修了試験対策
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価		
	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み：可、　論述式
	授業内評価	１０点　授業態度を踏まえて評価を行う。
		１０点　レポートなどの提出状況を踏まえて評価を行う。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった場合、提出物点が減点となります。出席は、８０％以上が求められます。８０％を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。また，欠席するとその回は態度の評価ができませんので，授業態度点も減点となります。そのため，できるだけ欠席をしないよう体調管理等に気を付けてください。

心理学的支援法(基礎)(3590)	平石　太一	併修科目・必修
		1年
		OT月曜3限

授業のねらい	カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界やカウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接 技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に理解する。さらに、良好な人 間関係を築くためのコミュニケーションの方法、プライバシーへの配慮などの倫理的側面についても理解する。
教科書・資料	授業内で用いる資料は適宜、配布する。

設題				
	レポート　1	カウンセリングが発展するに至った近代以降の歴史を簡潔に述べ、どういう人を対象としてどのように進めていくのか、その技法などに触れながら述べよ。	清書	11月16日（月）
	（ポイント）	まず、20 世紀半ばに助言指導、職業指導から始まったカウンセリングの歴史を知る。次に、のような人を対象に行われ、どのように進めていくものかを学ぶ。カウンセリングは決して万能ではなく、その対象者も限られることを考慮すること。		
	科目終了試験	学修のポイント3　支援対象者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について 学修のポイント2　心理学的支援の過程について 学修のポイント5　心理学的支援を行う者と支援対象者との関係について		科目終了試験12月21日（月） 実施予定
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション
2	心理学的支援とは何か
3	支援対象者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について①
4	支援対象者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法について②
5	心理学的支援に関する代表的な理論
6	心理学的支援の過程について①
7	心理学的支援の過程について②
8	心理学的支援を行う者の基本的態度について
9	カウンセラーの訓練、心理学的支援を行う際のプライバシーへの配慮について
10	カウンセリングの対象と限界について
11	心理学的支援を行う者と支援対象者との関係について
12	日常から考える心理学的支援①
13	日常から考える心理学的支援②
14	まとめ
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価		
	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	２０点　提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０％以上が求められます。８０％を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	運動学Ⅱ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	火曜・1限
担当教員	杉野　潤也　・　石田　敦子				
授業概要	後期の運動学では、前期に習得したROM測定をさらに練習し、その後、頭部や体幹の運動など全身の運動を学習して姿勢や歩行などの運動がどのように行われているかということを学習します。また運動をより上手に行うための練習方法なども学びます。患者さんの姿勢の観察や分析、患者さんの有効なトレーニング方法を考えるための基礎となる部分を身につけていきましょう。				
学習目標	・模擬患者に対して上下肢のROMを実施することができる ・頸部、体幹、骨盤の運動方向と主動筋との関係について述べることができる ・呼吸・嚥下のメカニズムについて説明することができる ・姿勢、歩行時の関節運動、重心、関節モーメントについて説明することができる ・運動学習理論について説明ができる				

回数		担当教員
1回目	上肢関節可動域測定　①P62～123	杉野・石田
2回目	下肢関節可動域測定　①P154～211	杉野・石田
3回目	関節可動域測定練習	杉野・石田
4回目	関節可動域測定練習	杉野・石田
5回目	関節可動域測定練習	杉野・石田
6回目	実技試験　関節可動域測定	杉野・石田
7回目	体幹の運動（呼吸を含む）　②P155～P171	石田　敦子
8回目	頭部の運動（顔面、咀嚼、嚥下を含む）　②P172～P182	石田　敦子
9回目	姿勢　姿勢の分類、姿勢保持、姿勢評価　②P183～P207	石田　敦子
10回目	歩行①　歩行周期と距離時間因子　②P208～212　確認テスト①(P155～207)	石田　敦子
11回目	歩行②　歩行のキネマティクス、運動力学　②P212～229	石田　敦子
12回目	歩行③　歩行のエネルギーと最適歩行、走行　②P229～239	石田　敦子
13回目	運動の学習①　運動学習とは　P270～282	杉野　潤也
14回目	運動の学習②　運動学習の形成過程　P283～293	杉野　潤也
15回目	運動学習のまとめ、確認テスト②(P293～303)	杉野　潤也

教科書及び参考書	①作業療法評価学/医学書院 ②標準理学療法学・作業療法学　運動学/医学書院
成績評価	期末テスト50%、実技試験20%、確認テスト30%、欠席1回で3点、遅刻1回で1点減点します。

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

1～5回の授業では、前期で学習したROM測定をもう一度練習します。4年間必要な知識・技術となりますのでしっかり復習しましょう。

7～12回の授業では、体幹や顔面の運動と姿勢や歩行時の関節や重心の働きについて学習します。確認テスト①は7～9回目を範囲とします。習った単語を適切に組み合わせて、動作の組み合わせや流れについて説明ができるようになってもらいたいと思います。7～12回授業分の定期テストは確認テスト①以外の範囲を多く出題する予定です。質問があれば事前にアポイントを取り、教員と予定のすり合わせを行ってください。

13～15回の授業では、運動の学習について学習します。確認テスト②は13～14回目を範囲とし、学習目標に沿った内容を問います。人間理解を深めるために、運動学習のしくみを学ぶことは大切です。毎回の授業で提示されるキーワードをしっかりと理解して、自分なりのことばで説明できるようになってください。授業には教科書を持参してください。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学Ⅱ	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	火曜・2限
担当教員	王静舒				
授業概要	解剖学Ⅱでは、運動器系の一部を分担する。筋系とともに運動器系を形成する骨格系の基礎を学ぶ。主に、骨、軟骨、関節、靭帯等の骨格系の構造である。前期の細胞・組織などの知識を思い出しながら、系統的に学ぶ。				
学習目標	①骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明でき、さらに理解を深める。 ②運動器の構造と機能に関して、骨・軟骨・関節・靭帯の構造と機能を説明できる。 ③四肢の骨・関節を説明でき、主な骨の配置を図示できる。 ④頭蓋、脊柱、胸郭、骨盤の構成を説明できる。				

回数		担当教員
1回目	骨格総論(Page27-35):骨の構造や発生	王 静舒
2回目	骨格各論A頭蓋①(Page36-42):外面・内面から見た頭蓋	王 静舒
3回目	骨格各論A頭蓋②(Page42-47):新生児の頭蓋冠・頭蓋を構成する個々の骨	王 静舒
4回目	骨格各論B脊柱＆C胸郭(Page48-57):脊柱と胸郭の構成と特徴＆個々の骨の名称や数	王 静舒
5回目	骨格各論D上肢の骨(Page58-67):上肢帯＆自由上肢骨、骨の名称や数	王 静舒
6回目	骨格各論E下肢の骨①下肢帯(Page68-72):骨の名称や数、骨盤の構成	王 静舒
7回目	骨格各論E下肢の骨②自由下肢骨(Page72-82):個々の骨の名称や数	王 静舒
8回目	関節靭帯総論(Page85-101):連結の種類、関節の構造と機能、関節の分類＆機能	王 静舒
9回目	関節靭帯各論A頭蓋の連結(Page102-106):顎関節の特徴、脊柱の連結	王 静舒
10回目	関節靭帯各論B脊柱、脊柱と頭蓋及び胸郭の連結①(Page107-109)脊柱と頭蓋の連結	王 静舒
11回目	関節靭帯各論B脊柱、脊柱と頭蓋及び胸郭の連結②(Page109-111):胸郭の連結	王 静舒
12回目	関節靭帯各論C上肢の連結①(Page112-121):上肢帯の連結と自由上肢骨の連結	王 静舒
13回目	関節靭帯各論C上肢の連結②(Page121-126):手の連結	王 静舒
14回目	関節靭帯各論D下肢の連結①(Page126-136):下肢帯の連結と自由下肢骨の連結	王 静舒
15回目	関節靭帯各論D下肢の連結②(Page137-143):足の連結	王 静舒

教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学[専門基礎分野]　解剖学(第6版)(医学書院)
成績評価	期末試験(筆記試験)(50%以上)、小テスト及び提出課題(35%以下)、出席(15点)などで総合的評価

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

①授業前の予習は大事！初耳の専門用語は繰り返し音読してみる
②授業中、配布資料を参考してメモやノートをしっかり取る
③授業中の質問＆問題を積極的に考えて答える
④授業後の復習はしっかりやり、課題を期限内に提出する
⑤毎回の小テストは真面目に挑んでみる

心理学入門(1641)	橋井大輔	併修科目・必修
		1年
		OT火曜3限

授業のねらい	心理学が誕生・発展してきた歴史を概観しつつ、今後、様々な心理学の応用分野を学ぶために必要な心理学的思考方法、および、基礎知識を身につけることを目的とする。簡便な心理学実験や心理テストなどの実践を通して、「心理学とは何か」といった入門学修を行っていく。

教科書・資料		大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。		
設題	レポート 1	心理学の歴史と現代社会への応用について述べよ。	清書	12月1日(火)
	(ポイント)	心理学が学問として成立してきた歴史について述べるとともに、心理学的知見がどのように現代社会に応用されているかについて実例を含めて記述すること。ヴントの構成主義心理学以降、新行動主義までの心理学史について、それぞれの立場を簡潔に整理しながらまとめ、さらに、福祉・教育・医療・産業などの分野において、心理学が明らかになった事柄がどのように利用されているかを考察する。		
	レポート 2		清書	○月○日(○)
	(ポイント)			
	科目終了試験	学修のポイント・心理学が科学であることについて 学修のポイント・心理的ストレスについて 学修のポイント・記憶のメカニズムについて	科目終了試験○月○日(○)実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション　心理学と科学
2	心理学のあゆみ　(さまざまな研究領域)　ヴントvs行動主義、機能主義、ゲシュタルト、精神分析
3	スキナーの新行動主義から現代の心理学の専門分野と活躍分野
4	行動主義以降の心理学、現代の心理学の専門分野
5	学修のポイント①　「心理学が科学であることについて」　1200字レポート作成　(10月13日(火)提出)
6	レポート1下書きの作成指導　(10月27日(火)提出)
7	学修のポイント④　ストレスと適応
8	学修のポイント④　ストレスコーピング 自分のストレス・コーピングを考える
9	学修のポイント④　「心理的ストレスについて」　1200字レポート作成　(11月17日(火)提出)
10	レポート1　清書作成　(12月1日(火)提出)
11	学修のポイント②　記憶のメカニズム　(記憶の過程と短期の記憶)
12	学修のポイント②　記憶のメカニズム　(長期の記憶と感情の影響) 記憶の障害
13	学修のポイント②　「記憶のメカニズムについて」1200字レポート作成　(12月15日(火)提出)
14	試験対策
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価	出席率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	２０点　提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	死生学	授業形態	(講義) 演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	水曜・1限
担当教員	大兼健寛				
授業概要	日本では脳死、尊厳死などに代表される生命の在り方について社会的な関心が高まっている。 本科目では、これらの事柄に対する思索を幅ひろく深めるなかで、「生命」の自己決定について考える。				
学習目標	①死の判定や脳死について理解する②インフォームド・コンセントについて理解する ③ホスピスの役割について理解する④リビング・ウイルについて理解する ①～④の事柄を通して、生命倫理、人の尊厳、個人や集団の死生観を幅広く理解する				

回数		担当教員
1回目	ガイダンス、「死」について考えてみる－例えば「死」をテーマにした作品など－	大兼健寛
2回目	「死」についての医学的考察	大兼健寛
3回目	インフォームド・コンセントの概要	大兼健寛
4回目	リビング・ウイルの概要	大兼健寛
5回目	「死」の判定や脳死、告知やリビング・ウイルにおける課題	大兼健寛
6回目	インフォームドコンセントにおける知る権利	大兼健寛
7回目	ホスピスの役割	大兼健寛
8回目	アドバンスケア・プランニングという概念	大兼健寛
9回目	中間まとめ、小テスト	大兼健寛
10回目	「死」とは何か？	大兼健寛
11回目	「死」にまつわるエトセトラ	大兼健寛
12回目	現代人はなぜ「死」を忌避するのか	大兼健寛
13回目	「未知」に対峙する「人」	大兼健寛
14回目	医療人として「死」と対峙するとき	大兼健寛
15回目	「死」を題材にした作品鑑賞	大兼健寛

教科書及び参考書	授業はプリントテキストを使用。参考書:星野一正『医療の倫理』岩波新書
成績評価	期末試験80%、授業内評価(出席率も含む)20%

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

グループディスカッションを取り入れた授業を行いますので、主体的に取り組んで下さい。
レポート等提出物があった場合、締切は厳守して下さい。
「生」と「死」について、他人ごとではなく、自分ごととして捉え、しっかり取り組んで下さい。
授業内容が辛い場合、一時的に退席してもらっても構いません。
辛いことは悪いことでは決してありません。あなたが「生」と「死」について、真正面から向き合った結果だからです。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	リハビリテーション医学概論	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	水曜・2限
担当教員	倉田　朱美				
授業概要	作業療法士は、病気で生活に困難が生じた患者様に対し、少しでも早い社会復帰ができるようサポートしていきます。対象となる疾患は様々であり、それぞれの疾患特性（発生機序、症状、特徴、リスク管理等）を理解していなければ、適切な支援ができず、社会復帰が遅れてしまいます。 この授業ではリハビリの土台となる理論や制度等を知り、そのうえで適切な支援ができる作業療法士を目指せるよう、基礎的なところを抑えていきます。				
学習目標	・リハビリテーションの語源、定義を自分の言葉で説明できる ・リハビリテーションに関わる他職種、分野、障害等を知り、作業療法士の仕事がイメージできる ・各障害による疾患特性に対し、作業療法士の役割や支援について簡単に説明できる				

回数		担当教員
1回目	リハビリテーション医学・医療の理念　P22-28	倉田　朱美
2回目	障害とは　P30-34	倉田　朱美
3回目	チーム医療について　P35-37	倉田　朱美
4回目	リハビリテーションの各ステージについて　P38-41	倉田　朱美
5回目	制度・法律　P123-128	倉田　朱美
6回目	障害各論①運動障害　(p130~予習不要)　単元テスト①	倉田　朱美
7回目	障害各論②高次脳機能障害　P149-155	倉田　朱美
8回目	障害各論③心理社会的障害　P159-160、P368-371	倉田　朱美
9回目	疾患①身体障害分野のリハビリテーション　P232-237	倉田　朱美
10回目	疾患②内部障害分野のリハビリテーション　(予習不要)　単元テスト②	倉田　朱美
11回目	疾患③高齢者のリハビリテーション　P343－348	倉田　朱美
12回目	疾患④小児のリハビリテーション　P304-308	倉田　朱美
13回目	疾患⑤精神疾患のリハビリテーション　P368-376	倉田　朱美
14回目	感染症とリスク管理　P93－96、392－397	倉田　朱美
15回目	まとめ	倉田　朱美

教科書及び参考書	PT・OTビジュアルテキスト　リハビリテーション医学　第1版/羊土社
成績評価	単元テスト①、②（各20%）　期末試験（60%）　欠席3点・遅刻は1点減点 1回目～5回目を単元テスト①、6回目～9回目を単元テスト②で出題します。期末テストは全範囲ですが、授業内で伝えたポイントや単元テストを中心に出題する予定です。授業内で理解できなかった部分は、そのままにせず、授業後にアポイントメントを取り、適宜解決するようにしてください。

学生へのメッセージ（受講上の留意点）

予習ではシラバスで指定した範囲の教科書を事前に必ず読んでおくこと。その後、授業でアンダーラインを引くよう指示された部分がポイントになるので全体像をつかんでください。復習では各章の学習ポイントについて学習を深め、単元テストで知識の定着を図りましょう。
リハビリテーションに関する総論から各疾患の特性や治療方法にも触れるため、幅広い範囲の内容になります。
上級学年でさらに詳しい内容に踏み込んでいくための基礎となるため、幅広い実習分野での体験を視野に入れて学習に臨みましょう。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	解剖学Ⅲ	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	木曜・1限
担当教員	丹羽　千春				
授業概要	神経系の解剖学を学習する。神経系は、個体の生存や種族の維持のために内外の環境変化に適応できるよう発達してきた精緻な器官である。収集された情報を処理する中枢神経系、情報や指令の伝達に関与する末梢神経系について理解する。				
学習目標	神経系の基本的な構成について理解する。 脊髄および脳の構造を理解し、機能と関連づけて説明できる。 脊髄神経・脳神経・自律神経系の基本構成を学ぶ。 脊髄神経と脳神経の走行、特に上肢・下肢に分布する神経叢の走行と傷害されやすい部位を学ぶ。				

回数		担当教員
1回目	神経系総論(P.225-P.236)	丹羽 千春
2回目	中枢神経系①脊髄(P.237-P241)	丹羽 千春
3回目	中枢神経系②脳幹(P.241-P.247)	丹羽 千春
4回目	中枢神経系③小脳(P.247-P.251)	丹羽 千春
5回目	中枢神経系④大脳:間脳・大脳半球の表面と区分・皮質と髄質(P.251-P.259)	丹羽 千春
6回目	中枢神経系⑤大脳:大脳皮質の局在性・大脳基底核(P.259-P.264)	丹羽 千春
7回目	中枢神経系⑥上行性神経路(P.264-P.271)下行性神経路(P.271-P.273)	丹羽 千春
8回目	小テスト(前半)	丹羽 千春
9回目	末梢神経系①脊髄神経:頸神経・頸神経叢(P.274-P.278)	丹羽 千春
10回目	末梢神経系②脊髄神経:腕神経叢(P.278-P.285)	丹羽 千春
11回目	末梢神経系③脊髄神経:胸神経・腰神経叢・仙骨神経叢・尾骨神経叢(P.285-P.296)	丹羽 千春
12回目	末梢神経系④脳神経-1(P.296-P.308)	丹羽 千春
13回目	末梢神経系⑤脳神経-2(P.296-P.308)	丹羽 千春
14回目	末梢神経系⑥自律神経(P.308-P.312)	丹羽 千春
15回目	小テスト(後半)	丹羽 千春

教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学　専門基礎分野　解剖学　第6版、医学書院
成績評価	期末試験80%、授業内確認テスト及び提出課題20%、出席・授業態度は試験点数不足時に考慮

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

しっかりと予習・復習をし、必要な内容を簡潔にまとめたり、イラストや図でイメージ学習を心がけてください。
解剖学用語は覚えるしかないので繰り返し学習することで覚えましょう！何度もやれば脳が学習して記憶します。
教科書音読を順番に当てます。当たった人は、他の人にも聞こえるように、はっきり大きな声で読みましょう。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	人間発達学	授業形態	(講義)・演習・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	木曜・2限
担当教員	倉田　朱美				
授業概要	私たちは普段、当たり前に歩行でき、箸を使って食べ、友人とお喋りしていますが、それらが可能となるまでにはさまざまな心身機能の発達が関わっています。どのようなことが関わりあって人は発達していくのかについて学んでいきましょう。また、当授業を通して児童発達支援士の資格取得ができるよう、実践的な考え方を身につけていきましょう。				
学習目標	1. 人間の各機能(身体、運動、言語、認知、社会性)がどのように発達するのかを簡単に説明できる。 2. 各ライフステージにおける心身機能面と活動能力面の特徴を簡単に説明できる。 3. 年度末に行われる児童発達支援士の認定試験合格に合格できる。				

回数		担当教員
1回目	ライフステージ発達1;新生児・乳児期の発達特徴(参考動画資料p23)	倉田　朱美
2回目	原始反射(使用テキスト:Crosslink basic リハビリテーションテキスト人間発達学)	倉田　朱美
3回目	姿勢反射(使用テキスト:Crosslink basic リハビリテーションテキスト人間発達学)	倉田　朱美
4回目	単元テスト①(反射)、運動の発達1;粗大運動(使用テキスト:上記と同じ)	倉田　朱美
5回目	ライフステージ発達2;幼児前期の発達特徴P27,31　(児童発達支援士マスター・ワークブック1章併用)	倉田　朱美
6回目	ライフステージ発達3;幼児後期の発達特徴p35,39,43　(児童発達支援士マスター・ワークブック2章併用)	倉田　朱美
7回目	ライフステージ発達4;学童期の発達特徴p47,51,54　(児童発達支援士マスター・ワークブック3章併用)	倉田　朱美
8回目	ライフステージ発達5;青年期の発達特徴　(児童発達支援士マスター・ワークブック4章併用)	倉田　朱美
9回目	ライフステージ発達6;成人期の発達特徴　(児童発達支援士マスター・ワークブック5章併用)	倉田　朱美
10回目	ライフステージ発達7;高齢期の発達特徴　(児童発達支援士マスター・ワークブック6章併用)	倉田　朱美
11回目	運動の発達2;微細運動、摂食嚥下運動p111	倉田　朱美
12回目	単元テスト②(運動発達:粗大、微細)、感覚機能	倉田　朱美
13回目	言語・認知・社会性の発達	倉田　朱美
14回目	ADL・遊びの発達	倉田　朱美
15回目	まとめ、期末試験 対策学習	倉田　朱美

教科書及び参考書	児童発達支援士ワークブック/人間力認定協会 公式マスターブック児童発達支援士第2版/人間力認定協会 前期発達心理学で使用した　Crosslink basic リハビリテーションテキスト人間発達学 参考動画資料:人間発達学/笹田哲,診断と治療社
成績評価	期末テスト60%、単元テスト①(反射)、②(粗大、微細)各20%(計40%)、 欠席1回-3点、遅刻1回-1点、授業態度

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

人間の発達を理解することは、人間への理解を深めることにつながります。また、今後に学習する作業療法の治療学を学ぶ際にも役立ちます。各時期の発達は覚えるのが大変ですが、各機能の発達を有機的に関連づけながら覚えていきましょう。
授業は単元テストを行い、段階的に学習理解が深められるような構成を取ってあります。自分の体を実際に動かしながら、頭だけでなく体で覚えたほうが脳への定着が良くなります。
疑問に思ったことは積極的に発言・質問し、積極的な姿勢で授業に臨んでください。

学習・言語心理学(3660)	木村洋太	併修科目・必修
		1年
		OT木曜3限

授業のねらい	人間は、生まれてから死ぬまでの間に、いろいろなことを記憶したり、忘れたりする。あるいは、過去の学習を基礎に、新しい 学習を行うといったように、日常生活において常に学習をしている。本科目では、学習・言語心理学が日常生活のあらゆる場面で の行動の基礎になっていることを理解するため、行動療法や行動分析の手法の基本でもある条件づけを中心に取り上げ、人の行動 が変化する過程、言語の習得における機序について学ぶ。
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。

設題				
	レポート 1	「古典的条件づけ」と「オペラント条件づけ」とについて、それぞれ何かを日常的な具体例を挙げながら簡単に述べ、両者の類似点と相違点をまとめよ。	清書	11月26日（木）
	（ポイント）	1.なお具体例に関しては、あなたにとって日常的なものを挙げるのが好ましいが、下記の語群の中から選択しても構わ ない。（パブロフの犬、恐怖、赤面症、禁煙、ギャンブル、パチンコ、言語、お金、ダイエット、イルカの輪くぐり、お手伝いする子ども、名画を見分けるハト） 2.2種類の条件づけの基本的な仕組みと違いを理解した上で、自らの日常的な行動が、いかに条件づけ理論によって説明可能であるかを示すこと。さらに、どのように条件づけ理論を活用すれば、その行動の生起を増やしたり減らしたりコントロールすることが可能となりうるかまで踏み込めれば、なお良い。		
	レポート 2		清書	
	（ポイント）			
	科目終了試験	学修のポイント3・学習性無力について 学修のポイント5・試行錯誤学習と洞察学習について 学修のポイント6・言語獲得について	科目終了試験12月10日（木）実施予定	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	「学習」とは何か:学習・言語心理学における「学習」の定義や特徴を理解する。
2	古典的条件づけについて：GW（日常の古典的条件づけ）
3	古典的条件づけでわかる研究結果
4	随伴性の理解
5	オペラント条件付けについて：GW（日常のオペラント条件付け）
6	オペラント条件付けでわかった研究結果 1
7	オペラント条件付けでわかった研究結果 2
8	レポート１　作成指導
9	学修のポイント３：学習性無力感について　レポート作成＋提出
10	学修のポイント５：試行錯誤と洞察学習　レポート作成＋提出
11	技能学習とは
12	言語の獲得の過程について
13	学修のポイント６：言語獲得の過程　レポート作成＋提出
14	応用行動分析について
15	科目終了試験
	期末テスト

成績評価		
	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	２０点　提出状況、授業態度を考慮して加算する。（レポート締め切りなど）

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０%以上が求められます。８０%を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

福祉と教育(1332)	吉安 功一	併修科目・必修
		1年
		PT・OT木曜4限

授業のねらい	東京福祉大学は「理論的・科学的能力と実践的能力を統合し、柔軟な思考力と問題発見・解決能力のある人材を育成する」ことを建学の精神としている。この科目では、福祉・教育・保育・心理・医療などを学ぶ基礎的な力を身に付けることを目指すとともに、社会における様々な課題に理解を深め、現代で新たに求められている能力とは何かを探求する。
教科書・資料	大学指定のテキストを使用するが、他に参考資料も配付する。テキスト所持の可否はその都度伝達する。

設題				
	レポート 1	教科書と「ワーク」を通して学んだこと、及び社会福祉を学ぶことの意義について述べよ。	下書	
	(ポイント)	「生きづらい」及び「排除」を扱った各章の内容と重要概念を述べること。具体的には、第1章～第4章の各事例についてそれぞれ述べ、その際に「子どもの貧困」や「周縁化集落」「認知症」「人身取引」の各概念について説明すること。また「排除」という観点から第5章～第8章について各章の内容をまとめ、その際に「社会的排除」「優性思想」「性的マイノリティ」「社会的擁護」の概念について説明すること。その上で、社会福祉を学ぶ事の意義について第9章～第12章の内容を参考に「支える」という視点から自分の将来と関連させながら考えをまとめてほしい。	清書	
	科目終了試験	学修のポイント・1　社会的排除について 学修のポイント・2　子どもの貧困について 学修のポイント・6　性的マイノリティについて	科目終了試験 日程調整中	
	期末試験・スクーリング修了試験	詳細は、後日発表		

1	オリエンテーション　及び　第１章～第４章　　「生きづらさ」という観点からの学び
2	第１章～第４章　　「生きづらさ」という観点からの学び
3	第５章～第８章　　「排除」という観点からの学び
4	第５章～第８章　　「排除」という観点からの学び
5	第９章～第１２章　「支える」という視点からの学び
6	第９章～第１２章　「支える」という視点からの学び
7	レポート１　作成指導及び作成（下書き作成）
8	学修のポイント①社会排除について
9	上記　ポイント作成
10	レポート１　作成指導及び作成（清書作成）
11	学修のポイント②子どもの貧困について
12	上記　ポイント作成
13	学修のポイント⑥性マイノリティについて
14	上記　ポイント作成
15	「福祉と教育(1332)」科目終了試験(持ち込み不可)
	期末テスト

成績評価		
	出　席　率	３０点　80%　以上、出席すること。不足した場合は一般スクーリングへの参加となります。
	期末試験	５０点　持ち込み:可、　論述式
	授業内評価	２０点　提出状況、授業態度を考慮して加算する。

備　考	授業中にレポートを作成する時間を設けます。その時間を有効に使い、早く提出をすることを心がけてください。
	レポート・学修のポイントの〆切は厳守すること。期限を守れなかった者は、反省文を添付して提出すること。授業中の携帯電話の使用、飲食、居眠りは絶対厳禁です（欠席又は遅刻扱いにします）。勝手な私語、指定された座席からの移動も禁じます（くり返し注意しても改善されなければ、反省文・課題などの提出を求めます）。出席は、８０％以上が求められます。８０％を下回ることになれば、課題の提出及び一般スクーリングへ参加することになります。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	生理学Ⅱ	授業形態	講義・(演習)・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	金曜・2限
担当教員	杉野潤也				
授業概要	この授業では、生理学の神経、筋、呼吸・循環器などの身体を動かす機能を中心に学習します。私たちの身体の中で何が起こっているのかがわかると、病気の原因が理解できるようになります。生理学は作業療法の対象疾患・障害の病態や発生メカニズムを理解することに役立ちます。				
学習目標	・泌尿器の機能について説明できる。 ・消化器の機能について説明できる。 ・内分泌器の機能について説明できる。 ・生殖器の機能について説明できる。 ・運動による循環と代謝について機能の変化を説明できる。				

回数		担当教員
1回目	尿の生成と排泄1(第10章)	杉野潤也
2回目	尿の生成と排泄2(第10章)	杉野潤也
3回目	酸塩基平衡(第10章)	杉野潤也
4回目	確認テスト①(9・10章の内容)、消化と吸収1(第11章)	杉野潤也
5回目	消化と吸収2(第11章)	杉野潤也
6回目	消化と吸収3(第11章)	杉野潤也
7回目	消化と吸収4(第11章)	杉野潤也
8回目	代謝と栄養1(第12章)	杉野潤也
9回目	栄養と代謝2(第12章)	杉野潤也
10回目	内分泌(第13章)	杉野潤也
11回目	確認テスト②(11・12.・13章の内容)、生殖と発生1(第14章)	杉野潤也
12回目	生殖と発生2(第14章)	杉野潤也
13回目	運動生理1(第15章)	杉野潤也
14回目	運動生理2(第15章)、振り返り	杉野潤也
15回目	振り返り、試験対策	杉野潤也

教科書及び参考書	標準理学療法学・作業療法学 生理学 第5版. 医学書院
成績評価	定期テスト60%、確認テスト①②40%(各20%)、欠席減点3、遅刻減点1

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

教科書の重要ポイントを理解できるように授業で支援します。そのためには皆さんの積極的な授業参加姿勢が必要です。授業では、知識理解に役立つプリントを用意します。授業後はプリントで復習を行ってください。頻出の専門用語を理解するには復習は大事です。成績は基本的に確認テストと期末テストで判断します。質問は授業後に随時対応します。授業時間内で質問できなかったことや、わからなかったことを相談してください。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	体表解剖学Ⅱ	授業形態	講義(・演習)・実習	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	金曜・3限
担当教員	杉野潤也				
授業概要	作業療法士はその人が行いたい作業活動を可能にするために身体・精神機能を評価します。現機能がどの程度か知ることで足りない機能の向上・改善を行い、困難であれば残存機能を最大限に生かし、適切な自助具や福祉用具等で環境を整える助言が必要になります。この授業では身体機能を評価する上で最重要となる筋の状態を確かめるための触診、筋力検査を実施していきます。				
学習目標	・筋の触診ができる ・徒手筋力検査が実施できる ・下肢筋の起始・停止がわかる				

回数		担当教員
1回目	下肢触診　1　　股関節に関わる筋　(腸腰筋～梨状筋)	杉野潤也
2回目	下肢触診　2　　股・膝関節に関わる筋　(長内転筋～中間広筋)	杉野潤也
3回目	下肢触診　3　　膝・足関節に関わる筋　(半腱様筋～長趾伸筋)	杉野潤也
4回目	下肢触診　4　　足関節に関わる筋(腓腹筋～短指屈筋)	杉野潤也
5回目	体幹触診　　胸郭・脊柱の筋(胸鎖乳突筋～腰部多裂筋)	杉野潤也
6回目	実技テスト1、徒手筋力検査の基礎知識	杉野潤也
7回目	上肢徒手筋力検査　1	杉野潤也
8回目	上肢徒手筋力検査　2	杉野潤也
9回目	上肢徒手筋力検査　3	杉野潤也
10回目	上肢徒手筋力検査　4	杉野潤也
11回目	上肢徒手筋力検査　5	杉野潤也
12回目	下肢徒手筋力検査　1	杉野潤也
13回目	下肢徒手筋力検査　2	杉野潤也
14回目	頸部・体幹徒手筋力検査	杉野潤也
15回目	実技テスト2、学習の振り返り	杉野潤也

教科書及び参考書	テキスト①　機能解剖学的触診技術　下肢・体幹/メディカルビュー テキスト②　作業療法評価学/医学書院 テキスト③　新・徒手筋力検査法/協働医書出版社
成績評価	期末テスト50%、実技テスト50%(触診25%、徒手筋力検査25%)　欠席-3点　遅刻-1点、授業態度 各実技テストについては日程が前後する可能性があります。随時、ご案内します。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

講義外学習では予習・復習・テスト勉強・実技練習を含めて15時間の勉強を行うことで、必要な知識の定着が出来ると考えています。勉強で困ったことがあれば早めに報告・連絡・相談をしてください。治療室などで自習を行う際には教務室にアポイントメントを取ってください。 触診の授業では実施しやすいように、半袖半ズボンなどの動きやすい服装で参加してください。実技テストでは学生同士での練習が必要です。実技テストまでに準備しておきましょう。

実技テストでは筋の名称、起始・停止などを覚えておく必要があります。実施分の筋を体表解剖学Ⅰで使用した資料も活用しましょう。実技テストは下肢筋の触診、徒手筋力検査について実施します。実際に対象者に実施する際には肢位などの変更を少なくしてスムーズに行い、安全かつ、心身の負担軽減、時間効率を考え行う必要があります。そのためには繰り返し練習して身体で覚えていくことが大切です。

2026年度後期　理学・作業 名古屋専門学校シラバス

科目名	見学実習事前・事後指導Ⅰ	授業形態	講義・演習 (実習)	学科・年次	OT・1年
				曜日・時限	月～金曜・1～4限
担当教員	OT専任教員				
授業概要	見学実習では、実習生としての身だしなみと謙虚な姿勢で実習を行なえること、実習施設の規則を守ることと環境整備に努めることができること、社会人として時間厳守と報告・連絡・相談を適時行えること、提出物等の遅れがないこと、文献などを活用して知識の向上に努められること、対象者の障害を理解してコミュニケーションが取れること、作業療法士の役割が理解できることが求められます。有意義な実習となるよう事前準備及び、終了後実習報告会にて振り返りを行います。				
学習目標	・見学実習において必要となる、基本的な介助方法や患者様との接し方などの実技能力を身につける ・2年次に学んだ評価を行う事が出来る ・作業療法士として相応しい対応を、対象者及び実習指導者に対して行う為の準備ができる ・学んだ事についてデイリーノートなどを用いて表出し、スーパーバイザーに提出する模擬練習ができる。				

回数		担当教員
1回目	学生紹介表の作成・社会的交流技能の説明	OT教員
2回目	実習想定場面での面接・観察と病態予測について	OT教員
3回目	療法士面接・バイタル測定　①P120～128　P140～171	OT教員
4回目	関節可動域測定　①P172～193	OT教員
5回目	筋力測定　①P194～226	OT教員
6回目	形態計測　①P227～241	OT教員
7回目	感覚検査　反射検査　立位バランスの評価　①P275～301　P370	OT教員
8回目	脳卒中の麻痺側運動機能の評価　運動失調検査　①P312～330　P356～369	OT教員
9回目	移乗介助　①P93～117	OT教員
10回目	実技練習	OT教員
11回目	実技練習	OT教員
12回目	実技練習	OT教員
13回目	OSCE(実技テスト)1	OT教員
14回目	OSCE(実技テスト)2	OT教員
15回目	電話連絡の方法、文献の調べ方について　②P98～103	OT教員
16回目	作業観察の視点と、デイリーノートの記載方法(ADL・リハビリ・レク場面)　②P64～97	OT教員
17回目	身体障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)	OT教員
18回目	老年期障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)	OT教員
19回目	精神障害領域に関する基礎知識(疾患の概要・評価)	OT教員
20回目	お礼状の作成　②P106～107	OT教員
21回目	実習報告会1	OT教員
22回目	実習報告会2	OT教員
23回目	実習報告会3	OT教員

教科書及び参考書	①PT・OTのための臨床技能とOSCE　コミュニケーションと介助・検査測定編　第2版　金原出版株式会社 ②これで解決PT・OT・ST臨床実習まるごとガイド　株式会社金芳堂
成績評価	OSCE(50%)　社会的交流技能(30%)　実習報告会(20%)　欠席は3点、遅刻は1点減点 学生心得第5章、第21条第1・2項のルール等を違反している場合には減点とする場合がある OSCEでは、対象者を観て挨拶やコミュニケーション、面接、バイタル測定を実施し、どのような病態か、何を困っているのか、それらを明らかにするにはどのような評価を選択すればよいか検討し実施できるかをテストします。OSCEが不合格の場合は再試験をおこないます。 社会的交流技能では実習にいくための基本的な態度が備わっているかを教員が評価します。

学生へのメッセージ(受講上の留意点)

授業内にて臨床実習で役立つプリントを配布します。ファイルを準備し、実習中に使用できるよう適宜ファイリングしてください。
授業内だけでなく、授業外の学習も重要となります。実技に関しては授業前後に実技室を使用し友達同士はもちろん、教員にアポイントメントを取り、積極的に練習してください。また、自身の分野に関する事前学習課題を各自に提示します。
臨床実習は1年間の学びを実際の対象者を通して再度学びなおしたり、授業で別々に学んだ知識を対象者を通して統合していく、非常に深い学びの時間となります。その時間を有意義なものとするために、しっかりと準備して前提知識を蓄える事が大切です。前提知識を十分に蓄えることで、バイザーから質問をされた場合にも返答することができるようになり、それらの知識を応用するおもしろさに気づけます。しっかりと準備をして臨みましょう。